

# 新規就農者や地域を担う営農者を育てるため、農業委員を中心に人・農地プランの話合い(福島県喜多方市千咲原地区)

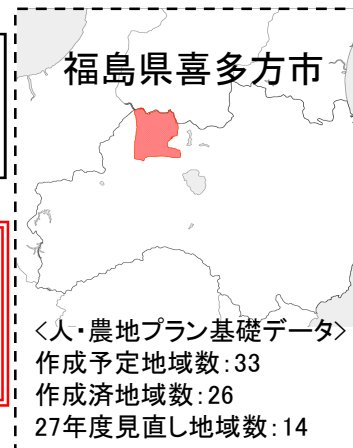
話合い  
の工夫

新規  
就農

## 地域の概要

単位をエリアとして、耕地面積103ha、農家数80戸、農家の平均年齢60.1歳と比較的若い、稲作・園芸作物の個別経営が多く、**米価下落等により将来の地域農業に不安。**

福島県喜多方市



## 取組の成果

- 担い手への集積率:[プラン作成時(H25)] 55.0%⇒[現在(H28)] 56.9%
- 野菜の有機栽培による高付加価値化に取り組む新規就農者を新たに中心経営体として位置づけ
- 集落内アンケートにより、全戸が地区の将来像を共有、農地の貸借意向の把握に利用

## 取組のポイント

### 話合い参加率の向上(アンケートの実施)

話合いへの参加率や関心を高めるため、地域の実態を把握するアンケートを全戸で実施。また、**アンケートの結果を踏まえ、リタイヤ意向者の農地については、農業委員を中心に認定新規就農者への農地集積を実施。**

### 首都圏等からの研修者を受け入れる体制の確立

当地域では有機栽培を実践している農家が多く、首都圏からの研修者を受け入れていることや、新規就農者独自のネットワークにより直売イベントを開催する等、新規就農者に対する受入体制が進んでいる。**有機栽培に関心を持つ新規就農者を新たな担い手として加え、野菜の栽培による高付加価値化を進めることとしている。**

### 作業の分担と農業機械の共同所有

兼業農家・自給的農家は、担い手農家に対して将来的に農地の貸付を行い、**役割分担の下、農機オペレーター・畦畔等の草刈や水管理等を行うことで、集落内の農地の保全を図る。**



人・農地プランに関する打合わせの様子